

●草内倉庫整理 収納

里山の会の活動でイベントの開催時に必要な備品や道具などの収納場所として草内の倉庫が随分と大きな役割を果たしてきました。この倉庫の役割は限りない効果を生み出しています。原木から切り出す炭焼き体験では鋸・ロープ・鎌・鉋などの山仕事の道具、稲づくり体験を行うための田圃の草刈から始める稲刈り鎌や草刈り機そのための燃料オイル、ロープ各種、薪割用の斧 鉄製のハンマー、木製のカケヤ 農園開拓の刈払い機、もちろん鎌や鉋など各種スコップや剣先スコップ、鍬等各種道具は増える一方となりました稲作ではもみを選別する唐箕（トオミ）・足踏み式脱穀機などが場所を取りました。近頃は国交省からの木津川希少植物植生調査管理業務のためのハンマーモアの収納庫として、また展示作品の収納庫として、そのほか諸道具類が山積するようになりまして整理整頓が欠かせない施設です。4カ月に及ぶ竹蛇籠や中聖牛製作の道具が増えて置き場所がなくなり、整理整頓管理する時間がなく時が過ぎていきました。

今年木津川の希少植物植生調査管理業務の進捗が進み、現場での作業が早く完了して、残るところはデスクワークのみになりました。そこで、この際、倉庫の徹底整理を行うべきだと判断して、倉庫内の品物を屋外に運び出しを行いました。5人が半日がかりの物品量でした。4日に注文した組立て棚が9日に入荷したので、10日の午後に組み立ててもらいました。14日には収納作業を終わるつもりです。今後は整理整頓を絶えず行い、きれいに使用していきたいと思っています。

●広場の整理

倉庫前の広場は物事を行うには手ごろな広さで使い勝手の良いものです。以前は年末の餅つきや慰労会も開催しました。一部西側に小屋が立ってさらに遮蔽が聞いて楽しい取り組みが外部の視線を気にしなくてもよくなりました。丁寧な取り扱いを重ね、更に利活用が出来るよう整え、さらにイベントが楽しい取り組みの拠点になるのではないかと思います。

●木津川希少植物植生管理業務 10日に完了

いよいよ12月で、冬の季節になりました。今年は時間的に余裕が生まれ、去年は年を超えて刈草作業になっていましたが、39カ所の調査個所のすべての除草作業が10日に完了しました。もちろん生育調査作業も完了し、来春が待ち遠しくなりました。作業が順調に進行しているのです。昨年より件数や面積数が大きく増加したのに、仕上がってしまったのです。今後は刈草の集積と処分を残すのみとなりました。この調子だと12月中に終了させられるのではないかと思います。随分と要領よく事が進みました。それだけ皆さんが全体を飲み込んで作業の能率が引き上げられたのです。昨日10日には6個所の京田辺市と木津川市加茂町の2か所で随分と距離の離れた場所だったのですが、夕方4時には終えることが出来ました。人通りが多くまた車が通る場所だったので、二人係で作業をすすめました。

●京都府環境フェスタ 7・8日

里山の会の12月の最大の取組は京都府主催の環境フェスタへの出展展示です。中聖牛の写真を前面にして、中聖牛の取組を発表しました。二日間で35人のみなさんから質問に解説を披露しました。皆さんはこの取り組みの名前や大きさ、それに蛇籠製作への3か月わたって製作を続けること、その大変さに驚いておられました。竹蛇籠の製作に32日間を要し延べ178人が参加していただきました。また中聖牛の設置の前作業に小石の運搬や地面の整地などには相当の皆さんに手伝ってもらいました。11月23・24日の二日間で90人の皆さんに手伝っていただきました。二日目の午後には竹蛇籠シンポを井手町の勤労者福祉会館で47人の参加で開催をいたしました。シンポでの司会は若手の小林慧人さんをお願いし、「竹蛇籠製作への取組」として福井波恵さんに発表頂きました。続いて竹門康弘先生から「伝統河川工法による河床地形管理」続いて角哲也教授から「木津川における土砂管理の課題と解決法」についてお話をいただきました。約50名の皆さんが熱心に聞き入りました。最後に角教授から継続が大事と引き続きこうした取り組みを開催することの重要性が強調されました。朝早くから夕方までの長い取り組みにご参加いただき有り難うございました。

●週刊ニュース 800号発行 関係者に記念ボールペン贈呈

一言で言えば800号到達と簡単ですが、この間には紆余曲折がありました。原稿は取り組みがあるから記事になるのです。皆さんが楽しい取り組みを開催されるから記事になるのです。そしてニュースにして印刷が行われ、戸別配達がされ、配っていただく皆さんの継続活動に支えられて到達できた協力のたまものなのです。もちろんメール送信、FAX送信、原稿チェックそれぞれの皆さんがその部署で作業を展開してこられたので、高い峰に到達できたのです。みんなで喜び合いましょう。こうした皆さんに感謝の気持ちを表すためにささやかですが記念するボールペンが出来上がりました。

●年末餅つき・注連縄作り 先の週刊ニュース802号でお知らせしましたが、22日開催が正式に決定されました。概要は先週号の通りです。沢山の皆さんのお越しをお待ちしています。多種多様な形でつきたてのお餅をいただきます。楽しい取り組みリフレッシュできる年末のひと時を過ごしましょう。

●冬の昆虫観察会 オオムラサキの幼虫調査 21日に実施 過日の毎日新聞で里山の生き物のうち貴重なオオムラサキが減少していると報道されています。先にもお伝えしましたが、地球温暖化や強力な台風の襲来回数が増えて甚大な被害を発生させていることなどの影響が出ているとの指摘です。里山の会でも変わらず大きな被害が発生しているようです。20数本の群生箇所のエノキの落ち葉を10数人が観察調査を実施しましたが、ゴマダラチョウは数十匹の発見でしたが、肝心のオオムラサキは16人が2時間の調査活動でたった一匹の発見に終わりました。これまでの観察活動では考えられない状況でした。21日調査活動の結果に注目しています。皆さんで徹底調査しましょう

●新年初イベント 七草摘み七草粥 6日 里山の会で新年最初の活動が「七草を摘んで七草粥」をいただくことです。そして新年の歌を力を込めて歌い、挨拶し、お屠蘇で乾杯しましょう。その場で摘んだ野菜その場でいただくなどこれも考えられない素晴らしい贅沢なとりくみです。こぞってお越しく下さい50人限定先着順で受け付けています。いつものように麻呂やお姫様の古代衣装で若菜を摘み七草を味わいます。

●12月14日 草内倉庫への収納が完了で忘年会へ

その場で里山の会の忘年会を計画しようと考えています。倉庫の整理と2019年の十大ニュース候補を噺の話題を魚にしてひと時を慰労の場とさせていただきたいと思っております。どなたでもご参加ください。お越しをお待ちしています。遅くとも14時30分頃にはお開きとします。